



あとがき



6月に核データ国際会議ND2025がスペインのマドリードで開催され、私も参加させていただきました。次回の核データ国際会議ND2028が日本で開催されることになり、私自身も準備に関わっていることから、いつものNDへの参加と異なり、会議で発表される研究内容だけでなく会議の運営や開催地の環境など、色々な面を気にして見ていた。マドリードは首都だけあって、空港からのアクセスなどの交通の便も良く、食事などの場所にも困ることは無かった。一方、ND2028については、松江市での開催を予定している。便利さの面ではマドリードに見劣りするかもしれないが、日本的な雰囲気を楽しむには良いところだと思われる。不便な点は工夫して補うことができればと思う。今年の6月のマドリードは熱波が押し寄せて、真夏の雰囲気を味わった。ND2028も6月の開催予定で日本では梅雨の始まる時期にあたる。昨今の異常気象ではどのような天気になるか見通すのは難しいが、気になるところである。今回のND2025では多くのパラレルセッションがあったが、興味を惹かれた発表が重なるなど、必ずしも聴講しやすいものではなかった。プログラム編成には十分気をつける必要があるようである。

ND2025は予算の面で苦労していたようであり、色々な教訓になる点もあるかと思われる。ND2028を日本で無事開催すべく、関係者と色々な面で協力して進めることができればと思う。

岩本 修 2025年9月

日本原子力学会核データ部会
核データニュース編集小委員会

合川 正幸 (北大)	岩本 修 (原子力機構)
大塚 直彦 (委員長、IAEA)	川瀬 頌一郎 (九大)
小浦 寛之 (原子力機構)	中村 詔司 (原子力機構)
丸山 修平 (原子力機構)	山野 直樹 (RADONet)